

トレンドに左右されない普遍的な能力

いま、高校3年生は共通テストを経て、私大入試、国公立入試に向けて最後の追い込みをかけています。実施前から後に至るまで物議を醸した共通テストですが、各予備校の分析を見てみるといくつか興味深いことがあります。まず、センター試験では約6割だった平均点を5割程度に調節するという触れ込みでしたが、蓋を開けてみれば前年度並みか、むしろ少し高めめの平均点となりました。2020年度試験が難化傾向だったことを考慮に入れても、これは意外でした。一方で、特に理系において、9科目で8割以上の高得点層が数を減らし、6~7割の層が増加しました。トップ層以外は少なからず影響を受けたということなのでしょう。

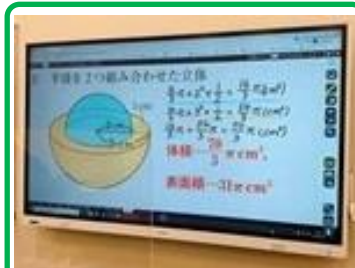
高校1・2年生の皆さんには、基礎知識をおろそかにしないこと、設問の設定や要求を的確に読み取る読解力をつけること、そして知識や経験を瞬時に出し入れする「反射神経」を鍛えることを意識してほしいです。傾向対策は3年生の2学期からでもできます。「それ以前」で振り落とされないように、必要な能力を3年生の春までに身に付けておきましょう。(酒井昂佑)

2/23	火	天皇誕生日【授業あり】
24	水	2020年度 授業終了
25~		公立入試直前ゼミ
4	水	2021年度 新年度開講
7	日	公立直前ゼミ 最終日 やる気UPコンサート
12	金	公立一般入試
13	土	新高1やる気アップ激励会
14	日	新高1保護者会(13:00~14:30) 日曜自習室SOS(12:00~18:00)
19	金	公立一般合格発表日
20	土	春分の日【授業あり】
21	日	日曜自習室SOS(12:00~18:00)
24	水	3月度 度授業終了
25~		春期講習スタート

教科書を読む

「学校の先生、教科書読んでるだけで授業おもしろくないし、意味ない」という声をよく耳にします。ほんとうにそうでしょうか。教科書を読むという行為は一般に思われているほどやさしくない私は思っています。子どもたちや保護者の多くは「教科書レベル」という言葉を「誰でも解ける」くらいの感覚で使いますが、大きな間違いです。なぜなら、入試問題はすべて「教科書レベル」だからです。

それにもかかわらず、教科書以外の教材を使用した練習が必要になるのはなぜでしょうか。教科書を「きちんと」読めていないからです。特に数学や理科において顕著ですが、きちんと教科書を読まずに問題集ばかりやるのは、灯台下暗しです。〔金子祐太〕



最新鋭 75インチ4K 電子黒板を2教室に設置。これでライブ授業もオンライン授業もさらに明快でわかりやすくなります!

1月の“自習王”決定!

- ★中学生の部
中3 風間 翔大 140.2 時間
- ★高校生の部
高3 岡村あすか 172.2 時間

小さな目標

もうすぐ新年度がスタートしますね。今年度の自分を振り返り、新年度の目標をたてましょう。小さな目標で構いません。例えば、「玄関の靴をそろえる」「床に落ちた髪の毛を拾う」「消しカスはきちんとゴミ箱へ捨てる」など。私は「毎日スクワットを30回する」という目標をたてています。達成できた日は、自分をほめちぎります。もちろん達成できない日もありますが、一歩下がってもまた二歩進めば良いのです。〔原田夏花〕

3月分 3日 学費の振替

高校部学習管理システム費(年間分)を今月振替分と合算してお振替させていただきます。金額の詳細につきましては明細をご確認ください。

コンビニ型でなく、デパート型へ

たとえば、牛乳は近くのコンビニかスーパーで買いますよね。では、スーツやバッグを買うときはどうでしょう? たぶん、スーパーではなく、休日などに時間と交通費を費やして、都会の大きなデパートへ行って、じっくりと選びたい方が多いのではないのでしょうか?

一般に塾の商圈(通塾エリア)は、「半径2km」程度といえます。これは、自転車や徒歩で十分通える距離。ところが、特進館学院の塾生は、「半径25km」のエリアから通ってくれていて、自転車や徒歩は2割未満。本来なら、このエリアに10数か所の分教室があってもおかしくないのですが、ご承知の通り『1教室』です。

牛乳はコンビニで買うのに、スーツはデパートで買う理由は、多少遠くても「妥協せずに自分に一番合う良い商品を選びたい」からだと思えます。私たちは、そんな「こだわり」を持つみなさんを選んでいただけるような、『デパート型の進学塾』を目指しています。「遠くから時間をかけて通っても、それだけの価値がある」と言ってもらえるような存在となるため、これからも真摯に努力を続けていきたいと考えています。〔北村昌弘〕



代表北村の独り言

新型コロナウイルス検査を2月からPCR検査へグレードUP!!全職員に当面毎月検査実施。しかし、最近メディアのおおりの報道が酷い。布マスク効果薄報道でマスクを2枚に重ね、今度はワクチン危険説・変異種…。ウイルスの変異は常識。恐怖感をおおるのはやめて~!

編集後記

年度の変わり目が近づいてきました。昨年同様、今年もコロナの影響を受けて式典等は簡素化され、その区切りを盛大に祝ってあげることが難しい状況だと思えます。「式」というと、子どもたちは面倒くさいし、なくていいと感じるようです。それでも、卒業式や修了式というものがあるだけで、気持ちの上では区切りをつけやすいのかなと感じます。学年によって、子どもも親も区切りの感じ方は様々だと思えます。はたして我が子は何を感じるのか…、今年はずっと観察してみようと思えます。